

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 小牧商工会議所

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | 今後の展開・改善点等 | 備考 | | | | | |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|------|----------------------------------------|------|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|------|------|------|------------|----|-----|-----|-----|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | 目標① | | 目標② | | 得られた効果 | | ABCD評価 | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | 達成率 | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | 達成率 | 自己評価 | 調査結果 | | | 満足度 | 必要性 | | | |
| 巡回・窓口相談指導事業 | 地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の太極をなす小規模事業者の経営基盤の安定強化のほか、創業・経営革新への積極的な支援を実施するため巡回及び窓口において相談・指導を行う。巡回相談指導では、小規模事業者と接点を持ち信頼関係を築くことや事業計画策定の意義を伝えることを重点に据え、各種施策の周知や経営実態と課題等について伴走型支援に努める。 | ・巡回窓口指導実企業数1,017社 ・巡回窓口指導延件数3,320件 ・課題解決提案件数65件 ・経営革新承認件数10件 | 小規模事業者 | 指標 | 巡回窓口指導延件数 (達成度 230.6%) | 指標 | 課題解決提案件数 (達成度 108.3%) | 本市商工業者の基盤をなす小規模事業者の経営基盤の安定化に努め、巡回窓口において相談指導を行い、小規模事業者並びに創業者の支援に寄与することができた。また、課題解決提案によって指導の成果を明確にすることができた。 | 総合評価 | A | 自己評価 | A | 調査結果 | 満足度 | A | 必要性 | A | 目標① | 目標② | 経営発達支援計画に基づき取り組む。その他、「働き方改革」、「消費税軽減対策」を重点的に取り組む。 |
| 講習会等 | 地域内事業者の大多数を占める小規模事業者の振興・安定に寄与することを目的に、経営知識の普及を図る。 | 講習会開催回数及び受講者数 ・集団 2回 21人 ・個別 55回 339人 計 57回 360人 | 小規模事業者 | 指標 | 開催回数 (達成度 80.3%) | 指標 | 課題解決提案件数 (達成度 %) | 個別指導・新型コロナウイルス感染症により売上減少に対する融資相談が増加した。また協力金や給付金の給付によって売上や収入への変化に対し、あらためて経理・申告への支援ができた。 集団指導：新型コロナウイルス感染症により売上や事業継続に影響が及ぶ状況に対し、今後の進むべき取り組みから生まれる効果を表現する事業計画の策定支援を行った。 | 総合評価 | A | 自己評価 | A | 調査結果 | 満足度 | B | 必要性 | A | 目標① | 目標② | 確定申告・決算指導会については完全予約制及び実施体制（有料化等）への変更を検討し、効率化を目指す。また事業所にとって有益な情報を、集団や個別の形に補われなくなり、積極的支援していく。 |
| 記帳継続指導 | 管内の小規模事業者（個人）を対象に、日々の記帳処理から決算・申告までを習得し自主申告する事を目的に、定期的に対面指導を行う。経営状態が把握できる様になることで、経営強化や事業計画策定など経営発達支援にも結び付ける。 | ・指導対象者数 30件 ・指導延日数 310日 ・指導延回数 432回 | 管内の個人の小規模事業者 | 指標 | 受託件数 (達成度 107.1%) | 指標 | 課題解決提案件数 (達成度 %) | 小規模事業者が帳簿記帳の知識を身に付けることにより、経営実態の強化と安定を図ることができた。 また、事業所に合わせた資料の作成により、昨年導入したクラウド会計の定着や税制改正の情報提供、電子申告等を促進できた。 | 総合評価 | A | 自己評価 | A | 調査結果 | 満足度 | B | 必要性 | A | 目標① | 目標② | 記帳指導・財務分析に際し、事業計画策定支援等を指導員と連携して支援する。 また、新規委託先獲得のため、前項の個別講習会との差別化及び、他事業との連携の強化を図る。 |
| 若手後継者等育成事業 | 小規模事業者の振興と安定に寄与することを目的に、経営の改善発達を支援する事業を推進するにあたり、若手後継者等の育成、支援を通じて経営実態の向上を図る。さらに青年部については自らの経営力向上および自己研鑽を目的に研修会への参加や勉強会の開催、全国商工会議所青年部連合会主催の全国大会の総会及び講演会等へ参加を通じて地域内の商工業の振興を図る。 | ・青年部 部員数 57人 役員数・総会等 17回 ・女性会 会員数 47人 役員数・総会等 12回 | 小規模事業者を中心とする青年部員・女性会会員 | 指標 | 青年部部員数 (達成度 95.0%) | 指標 | 女性会会員数 (達成度 100.0%) | 役員会等を通じて組織運営の手法を学び、経営知識向上の一助とした。コロナ禍における事業運営や会議の開催方法を模索し、役員会のオンライン化など新しい手法に取り組んだ。 | 総合評価 | B | 自己評価 | B | 調査結果 | 満足度 | B | 必要性 | A | 目標① | 目標② | 継続して組織強化や円滑な事業運営に取り組む。手法は、役員等を中心に協議・決定し推進する。 |
| 地域振興祭事業 | 小牧市民の各世代のエネルギーを結集したまつりが開催されるにあたり、産業界として協力の下、小牧夏まつり・小牧市民まつりが行なわれる。そのため実行委員会に参加するとともに催事に参画し、商工業者の団結とまちの活性化に寄与する。 | ・小牧夏まつり並びに小牧市民まつりは新型コロナウイルス感染症拡大による影響のため中止。 | 中小・小規模事業者 | 指標 | 小牧夏まつり来場者数 (達成度 %) | 指標 | 小牧市民まつり来場者数 (達成度 %) | 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 | 総合評価 | - | 自己評価 | - | 調査結果 | 満足度 | - | 必要性 | - | 目標① | 目標② | 小牧夏まつり事業への参加は未定。 小牧市民まつり事業は、引き続き行政や関係団体と連携し小牧市民はじめ市外からの交流人口増を図る。 |
| 街づくり事業 | 商店街組織の衰退が進み、中心市街地活性化の主体となることが難しい状況に陥っている。こうしたなか、商店街・市民団体・市・商工会議所を中心とした協働組織「小牧にぎわい隊」の自主自立に向けた運営等の支援を行う。 | 総会（書面審議） 1回 正副会議 5回 役員会 11回 イベント回数 0回 計 17回 | 中心市街地商店街（小規模事業者） | 指標 | 会議等開催回数 (達成度 48.6%) | 指標 | 課題解決提案件数 (達成度 %) | 新型コロナウイルス感染症の影響でイベントはほぼ中止となったが、今までの中心市街地にながわいもたらすという目的に対しての活動について見つめなおす機会となった。 | 総合評価 | B | 自己評価 | B | 調査結果 | 満足度 | B | 必要性 | B | 目標① | 目標② | 小牧にぎわい隊事務局強化に向けた支援を通じ、組織運営と商店街の支援を図る。 |
| 地域振興事業 | 小牧市の地域を7地区に分け商工会議所の事業の一翼を担い、会員事業所への情報提供（小規模事業者を中心に）を行うなどし、地域商工業の振興に資する。 | ・外山ブロック会議 0回 事業 0回 ・小牧ブロック会議 0回 事業 0回 ・味岡ブロック会議 2回 事業 0回 ・篠岡ブロック会議 4回 事業 0回 計 6回 計 0回 | 中小・小規模事業者 | 指標 | 会議開催回数 (達成度 33.3%) | 指標 | 課題解決提案件数 (達成度 %) | 新型コロナウイルス感染症の影響により会議や事業などを実施することは難しくなったが、逆に施策に対する問い合わせが増えたことで中小・小規模事業者のニーズ把握とともに、事業所が必要とする施策支援に寄与することができた。 | 総合評価 | B | 自己評価 | C | 調査結果 | 満足度 | B | 必要性 | A | 目標① | 目標② | 会議の枠に捕らわれることなく、行政への要望につながるような各地区事業者からの「声」を察知する。また中小企業・小規模事業者のニーズを把握し、時勢に合わせた事業運営を行い、参加事業所に発展への一助となる支援に努める。 |
| 経営相談・指導事業 | 営業力の限られる中小・小規模事業者にとって、取引先の新規開拓が難しい問題である。このため、商談の場を提供することにより、取引の機会拡大を図る。 | ・相談室運営に関する事項定期開催（税務・特許・社会保険労務士） 随時開催（法律・特許・社会保険労務士） 相談室開催数 計48回 | 中小・小規模事業者 | 指標 | 相談室開催数 (達成度 84.2%) | 指標 | 課題解決提案件数 (達成度 %) | 小規模事業者が経営上のさまざまな問題に直面した場合に、無料または安価でより専門的なアドバイスを受けられる機会を商談所が提供することにより経営のニーズに応えた。 | 総合評価 | A | 自己評価 | B | 調査結果 | 満足度 | A | 必要性 | A | 目標① | 目標② | 小規模事業者の経営課題の解決、利用者満足度の向上を主眼に、必要に応じて高収益率の開催と時事的事項を考慮し開催する。 |
| 商談会事業 | 営業力の限られる中小・小規模事業者にとって、取引先の新規開拓が難しい問題である。このため、商談の場を提供することにより、取引の機会拡大を図る。 | ・2020年度地域商談会（尾張会場） 0件 ・アライアンス・パートナー発掘市2020 18件 | 中小・小規模の製造業及び県内商工会議所会員事業所のうち中小・小規模の全業種 | 指標 | アライアンス・パートナー発掘市エントリー企業数 (達成度 90.0%) | 指標 | 地域商談会（尾張会場）に参加の受注企業数 (達成度 %) | アライアンス・パートナー発掘市では、新製品開発など協力してくれるパートナー探しと、商談のチャンスを提供できたと共に、参加者にとって、新型コロナウイルス感染症対策としたWEB商談のスキル向上に大きく寄与した。 | 総合評価 | B | 自己評価 | B | 調査結果 | 満足度 | B | 必要性 | A | 目標① | 目標② | 金融機関と連携強化を図り、更なる商談会PRを図るとともに、WEB商談による販路拡大手法を支援先へ提案し、参加企業増加に努める。 |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 小牧商工会議所

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | 今後の展開・改善点等 | | 備考 | | | | | | | |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|-------|-----------------|------|-----|---------------|-----------------|--------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------|--------|------|------|-----|----|-------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | 得られた効果 | | | | ABCD評価 | | | 目標① | 目標② | | | | | |
| 青年部・女性会事業 | 青年部 次の地域経済を担う経営者、後継者の相互研鑽の場として、また、青年経済人として資質の向上と部員相互及び卒業生であるOB会との交流を通じ、企業の発展と豊かな地域経済社会を築く。 女性会 多様化する商工会議所事業の一翼を担い、女性の特性を活かして商工会議所事業を推進し、もって商工会議所の発展を図る。 | ・青年部・女性会が主催する事業 青年部員による事業の運営、上部団体（県連等）、青年部OB会の活動に参加 7回 女性会 女性会会員による事業の運営、上部団体（全女連等）の活動に参加 5回 | 小規模事業者を中心とする青年部員・女性会会員 | 指標 | 青年部事業数（会報発行を含む） | | | 指標 | 女性会事業数（会報発行を含む） | | | 部員による事業の企画・実施や、上部団体等への活動に参加することにより、組織運営の手法を学んだ。コロナ禍における事業運営や会議の開催方法を模索し、対面事業は開催できなかったものの、役員会等のオンライン化など新しい手法に取り組むことができた。 | 総合評価 | B | 事業実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 役員等を中心に協議・決定し推進する。資質向上に資するよう効果的な事業運営の支援に努める。 | |
| | | | | 目標数値 | 30 | 実績数値 | 7 | 目標数値 | 11 | 実績数値 | 5 | | | | | A | | | | 必要性 | 実施方法① | | 実施方法② |
| | | | | 目標達成度 | (達成度 23.3 %) | | | (達成度 45.5 %) | | | D | | | | | A | | | | 現行どおり | 現行どおり | | |
| 部会・委員会事業 | 部会や委員会活動支援を行い、情報提供や企画事業の実施並びに中小企業施策への積極的対応（説明会・相談会等）を行うことで、個別企業の発展に資し、企業の連帯感の醸成をすることを目的とする。また、地域の振興と消費喚起を図る。 | ・理財金融業・交通運輸業・一般製造業・薬業ゴム化学工業・機械金属工業 各部会 ・産業振興・こまきブランド向上 各委員会 ・プレミアム商品券・名古屋コーナン各プロジェクト事業と消費喚起を図る。 計5回 | 中小・小規模事業者 | 指標 | 事業開催回数 | | | 指標 | | | | 新型コロナウイルス感染症の影響により会議や事業などを実施することは難しくなってきたが、逆に施策に対する関心が高まったことにより、中小・小規模事業者のニーズ把握とともに、施策普及と支援に寄与することができた。 | 総合評価 | C | 事業実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | オンラインを活用した会議を開催することで、中小企業、小規模事業者のニーズを把握し、各種事業展開に反映させる。また、時勢に合わせて事業運営を行い、参加事業所に発展への一助となる支援に努める。 | |
| | | | | 目標数値 | 18 | 実績数値 | 5 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | | | C | | | | 必要性 | 実施方法① | | 実施方法② |
| | | | | 目標達成度 | (達成度 27.8 %) | | | (達成度 %) | | | D | | | | | B | | | | 現行どおり | | | |
| 労働保険事業 | 労働保険への加入手続、保険料の申告・納付手続、その他雇用保険の被保険者に関する手続等各種事務処理は中小企業の負担となること少くない。労働保険事務組合を設置することにより中小企業事業主の負担を軽減するとともに各種制度を推進する。 | ・労働保険事務組合小牧商工会議所運営に関する手続等委託事業場数 483件 取得・喪失給付事務 898件 労働保険事務組合連合会等会議・研修会 4回 ・小牧商工会議所建設一人親方組合運営に関する事項委託事業者数 62人 | 中小・小規模事業者 | 指標 | 労働保険事務組合委託事業場数 | | | 指標 | 一人親方組合委託事業者数 | | | 小規模事業者の事務負担を大幅に削減し、助成金や各種給付申請についても適切な助言を行い、労働保険制度を有効に活用できた。 | 総合評価 | A | 事業実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 未加入事業所の適用を促進し、委託事業所に現状に合った事務手続きや適正な納付を推進していく。 建設一人親方組合の普及・PRを図り、労災事故時の被災者への迅速な対応に努める。 | |
| | | | | 目標数値 | 478 | 実績数値 | 483 | 目標数値 | 55 | 実績数値 | 62 | | | | | A | | | | 必要性 | 実施方法① | | 実施方法② |
| | | | | 目標達成度 | (達成度 101.0 %) | | | (達成度 112.7 %) | | | A | | | | | A | | | | 現行どおり | 現行どおり | | |
| 雇用促進事業 | 個人の能力を大いに発揮し業務に精進し、在籍する事業所への貢献、功績があった従業員を表彰することで、地域企業への就業者の確保や定着促進を図ることを推進する。また、中小・小規模事業者への経営支援の一環として、創業10年以上の事業者を表彰し、PRする機会を創出することで、当該企業の事業活動の一助とする。 | ・優良従業員表彰制度において表彰対象を従来の功労表彰とは別に永年勤続表彰を設け、表彰者を拡充し実施 優良従業員表彰者数17名 ・会員企業表彰制度については、会員企業顕彰制度へ変更し、周年事業（10年に一度）と変更したため実績なし | 会員中小・小規模事業者 | 指標 | 優良従業員表彰者数 | | | 指標 | 会員企業表彰企業数 | | | 在籍する事業所への貢献・功績があった従業員だけではなく永年勤続の従業員を表彰することで、福利厚生の実施や従業員のモチベーションの創出を支援した。 | 総合評価 | B | 事業実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 中小・小規模事業者の雇用安定、定着化に寄与することなどをPRするとともに、対象事業所の事業活動の一助となるよう実施する。 | |
| | | | | 目標数値 | 12 | 実績数値 | 17 | 目標数値 | 1 | 実績数値 | 0 | | | | | A | | | | 必要性 | 実施方法① | | 実施方法② |
| | | | | 目標達成度 | (達成度 141.7 %) | | | (達成度 0.0 %) | | | C | | | | | B | | | | 現行どおり | 廃止 | | |
| 税務関係団体指導事業 | 小牧税務署や他団体と連携し、税に関する情報交換や、傘下中小・小規模事業者への税務知識普及と指導を行う。 | 会議・事業開催回数 16回 | 中小・小規模事業者 | 指標 | 会議・事業開催回数 | | | 指標 | | | | 管内中小・小規模事業者の税務知識、適正納税の普及を関係団体と連携して推進を図った。 | 総合評価 | A | 事業実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 事業承継税制や消費税、所得税などの税制改正への対応に対して、引き続き関係団体と連携して支援事業の充実を図る。 | |
| | | | | 目標数値 | 16 | 実績数値 | 16 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | | | A | | | | 必要性 | 実施方法① | | 実施方法② |
| | | | | 目標達成度 | (達成度 100.0 %) | | | (達成度 %) | | | A | | | | | A | | | | 現行どおり | | | |
| 産業団体等指導事業 | 小規模事業者主体の団体への組織運営手法などの指導を通じ、参加組合員の経営改善の一助とする。 | 小牧喫茶店組合、愛知県商店街振興連合会小牧支部、小牧市発展会連絡協議会、小牧市北里発展会、小牧市東部商店街振興組合運営指導を行う。 会議・事業等開催回数 計17回 | 小規模事業者を中心とする地域商工業者・団体 | 指標 | 会議・事業開催回数 | | | 指標 | | | | 団体への事業支援による地域振興を図った。 | 総合評価 | B | 事業実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 各団体の事業を通じ、組織強化を目指し、また、事業支援による地域振興を図る。 | |
| | | | | 目標数値 | 29 | 実績数値 | 17 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | | | B | | | | 必要性 | 実施方法① | | 実施方法② |
| | | | | 目標達成度 | (達成度 58.6 %) | | | (達成度 %) | | | C | | | | | A | | | | 現行どおり | | | |
| 情報収集提供事業 | 当所が発行する「所報つづじ」「相談所便り」「メールマガジン」により小規模施策、各種事業をPRし小規模事業者の各種制度の利用を勧奨する。また商工振興モニター制度による小規模事業者の経営情報等の収集と取りまとめを行う。 | ・会報 12回 「所報つづじ」から「会報」へ名称変更 ・相談所便り 3回 ・メールマガジン 86回 ・商工振興モニター 100件 | 中小・小規模事業者 | 指標 | メールマガジン発行回数 | | | 指標 | | | | 中小・小規模事業者向け施策や各種事業等の情報提供を行い、施策を活用したいと考える中小・小規模事業者が増えた。 特に、新型コロナウイルス感染症に関連する情報を随時発信したことにより、メールマガジン登録者数が増加した。 | 総合評価 | A | 事業実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 小規模事業者にとって有益となる情報発信を継続して行う。 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、各種施策をメールマガジン等として柔軟に対応し周知を図る。 | |
| | | | | 目標数値 | 22 | 実績数値 | 86 | 目標数値 | | 実績数値 | | | | | | A | | | | 必要性 | 実施方法① | | 実施方法② |
| | | | | 目標達成度 | (達成度 390.9 %) | | | (達成度 %) | | | A | | | | | A | | | | 現行どおり | | | |
| 人材育成事業 | 各種研修・検定試験を実施することにより、経営や仕事上の基礎能力の向上に寄与する。 | ・社員研修 RPAセミナー、生産性向上セミナー 計2回 ・各種検定 簿記検定2回、珠算検定2回、リテラルマーケティング（販売士）検定1回、ビジネス実務法務検定1回、福祉士環境コーディネーター検定1回、ビジネスマネージャー検定1回 計8回 | 管内小規模事業者、中小企業者及びその社員、一般市民 | 指標 | 社員研修（実施回数） | | | 指標 | 各種検定（実施回数） | | | 各種講習会等の開催により小規模事業者等の人材育成に寄与した。 | 総合評価 | B | 事業実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種講習会・検定の開催手法が変更になることから、経営改善普及事業より除外する。 | |
| | | | | 目標数値 | 2 | 実績数値 | 2 | 目標数値 | 14 | 実績数値 | 8 | | | | | A | | | | 必要性 | 実施方法① | | 実施方法② |
| | | | | 目標達成度 | (達成度 100.0 %) | | | (達成度 57.1 %) | | | B | | | | | B | | | | 廃止 | 廃止 | | |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。